

第二世界大戦は武蔵の教団に伴ひ勝たらしめしものであることを労働者、農長は考へなければならぬ、東洋に於ても歐洲と同様の姿に包まれてゐる。

莫大な軍需費をもつ日本の現状を他國に比較して見るためには米を省みる必要がある、米米に於ては食糧は自由であり食糧の確保もない書籍、映画も検閲を受ける必要がなく、一月月四十弗の収入なき者は失業者として週二弗か與へられてゐるやうであるか日本はどうか若々は食糧の自由、集會、著作出版の自由がない、金生面を打込んだ著作もそれより智識の低い役人の眼で、、、注意、、政治的自由も與へてゐない、貧乏者は益々榮へ、貧乏者は益々貧乏してゐる。現在米は高いか地主や商人を喜ばせるだけだ、若々には良ふ米もない。日本の政治経済機構の必然性た政黨内閣が消へても若々

の若しくはよくなるぬ若々等に對する具体的な政策は何もない。廟止又た、つまらんところに刀コブを入れてゐる現内閣は國民生活面を法律規則の中に入れ、富強主義の手に絶台運動の上にも延びてゐる農村委員等、學識防止委員等を組織し若々の運動を妨害せんとしてゐる。又本年は秋の風水害と凶害で不作た若々は困窮力を以て戦ひ抜かねばならぬ。

と、 農長推薦 (司會者一任)

議長 長 鹿 松 三 郎

3、 農長挨拶

米價は高くなつて農利は衰へたと地主、資本家は喜ぶが農民は飯米にも苦しんでゐる。肥料は高くなり晚秋は雨で腐れた。雨が高くなつても産米資本家はかりの儲けである、資本家は争議を防止し高い肥料を買ひつづける爲に購買力が増した